

- 1) 病理学的診断によって、悪性腫瘍であることが診断されている(癌腫、肉腫いずれも含むが血液腫瘍を除く)。
- 2) 治癒切除不能又は再発により、標準治療による根治が困難と考えられる。
- 3) 標準治療実施後、あるいは終了の見込みの状況である。または、標準治療がない状況である。
- 4) パネル検査の実施によって次の治療選択に関して利益があると考えられる患者。

(想定される治療選択や特に確認したい遺伝子をご記載ください: _____)

(希望されるパネル検査の種類: NCCオンコパネル FoundatioinoneCDx 当院と患者さんとの話し合いでの決定が良い _____)

- 5) Performance Statusが0又は1である。年齢は18歳以上である。
- 6) 評価可能な量のがんを含む病理標本があり、NCCオンコパネルの場合にはさらに正常細胞として末梢血の採血が可能な症例。
* 骨髄・臓器移植歴がある場合には、末梢血が正常コントロールとして使用できないと想定されるため解析対象外とさせていただきます。
- 7) 生活歴(喫煙歴、飲酒歴、有害化学物質・放射線への曝露、職業歴など)の情報が得られている。
- 8) 治療歴、家族歴および既往歴の情報が得られている。
- 9) NTT東日本関東病院にて検査前に適格性(病理検体の状況を含む)の確認が行われることを了承されている

(その他、エキスパートパネルで討議してほしい臨床情報など: _____)

性別 男性 女性

診断名 (_____)

組織型 (_____)

解析予定試料について

手術検体 生検検体

原発巣 転移巣

初発 再発

治療の介入なし 化学療法後 放射線照射後 (照射部位 非照射部位)

既承認体外診断薬による遺伝子解析 あり なし (有の場合;具体的内容 _____)